

会 議 要 旨

会議の名称	令和6年度 第4回川越市公民館運営審議会
開催日時	令和7年2月7日(金) 午後2時00分～午後4時
開催場所	中央公民館 軽体育室
議長	(会長) 向坂晶芳
出席者	(副会長) 長峰す美子 (委員) 井芳史 梅田美鈴 大澤三郎 大西麗衣子 岡田すぎ子 奥山由美子 大野晃 金子泉 川村公平 小西新一 小峰肇 高野明夫 野村桂子 平井正一 水村富美子 水口博之 矢部竹雄 山口宰 山野敏子 吉岡一美 米原民子 以上23名(会長・副会長含め)
欠席者	0名
傍聴人	0名
事務局職員 職・氏名	中央公民館長 中央公民館副館長 中央公民館副主幹 中央公民館主 査 南公民館長 芳野公民館長 古谷公民館長 高階南公民館長 福 原公民館長 山田公民館長 大東南公民館長 霞ヶ関公民館長 霞ヶ 関西公民館長 霞ヶ関北公民館長 伊勢原公民館長 川鶴公民館長 名細公民館長代理 山田公民館長 以上18名 (書記) 中央公民館副主幹
会議次第	1 開 会 2 あいさつ 3 議 題 (1) 単独公民館における令和6年度事業経過報告及び 令和7年度事業展開について (2) その他 4 閉 会
配布資料	1 第4回川越市公民館運営審議会次第 2 第3回川越市公民館運営審議会会議録 3 第46回全国公民館研究集会・第64回関東甲信越静公民館研究大 会新潟大会資料

議 事 の 経 過	
事務局	1 開 会
会長 事務局	2 あいさつ
事務局	<p>3 議 題</p> <p>(1) 単独公民館における令和6年度事業経過報告及び令和7年度事業展開について</p> <p>各単独公民館から令和6年度の事業で特色のある講座が報告された。また、令和7年度事業を展開する上での特色のある講座や考え方なども報告された。</p>
事務局	<p>①中央公民館の事業経過報告</p> <p>【講座】 子ども若者の生きづらさ信頼できる大人とは</p> <p>【目的】 生きづらさを抱えた子どもたちの実態を知ることによって理解を深め、接し方を学び、子どもとのより良い関係を築く一助とする。</p> <p>【成果と課題】 昨年度は小中学生の不登校が過去最多となり、社会的な注目も集まっている。社会的包摂の実現のためには、当事者や支援者の取り組みが公民館だけにとどまらず必要とされている。</p> <p>【令和7年度の事業展開】 昨今、特に若者を中心に広がっている「闇バイト」問題は、SNSを起因として青少年が犯罪に巻き込まれるリスクや社会的な影響が懸念されている。中央公民館では、小学校から高校までのPTAと連携し、闇バイトの実態やその危険性、SNSとの関わり方について学ぶ家庭教育講座を検討している。</p>
委員	<p>【事業報告の意見等】</p> <p>○とてもタイムリな話題であり、小中学生の自殺者が話題となっている。経済格差による学力格差も生じ、学校の教師にしわ寄せが来ている。これからの子どもたちの未来のために、寺子屋のような塾の開設を望む。子どもの居場所としても重要である。</p> <p>○このような講座を実施したことを周知し、各公民館間でも情報共有をしてほしい。</p> <p>○情報公開するに際しては、個人情報等に配慮して、慎重になっていただきたい。</p>

事務局	<p>○公民館で扱うにはテーマが広すぎるのではないか。</p> <p>【事業展開への意見】</p> <p>○公民館を会場とするのではなく、PTAや学校に出向く形で実施してほしい。</p> <p>○川越市の方が制作に関わった少年犯罪のドキュメンタリー映画があり、闇バイトで困っている青少年にアプローチすることで彼らを助けられる場合がある。</p> <p>○警察に協力してもらい、子どもたちが関わらない方法と私たちが自分の身を守る方法という視点で実施してもらいたい。</p> <p>②南公民館の事業経過報告</p> <p>【講座】</p> <p>夏休み宿題大作戦</p> <p>【目的】</p> <p>地域の方々の支援を受けながら夏休みの宿題に取り組むことで、地域の支えによって自身が育まれていることを認識し、心の成長を促進する。</p> <p>【成果と課題】</p> <p>児童の夏休みの宿題を進める点では、読書感想文の下書きの完成などの成果が見られた。一方で、2時間半の長時間設定のため、途中で飽きる児童が見受けられる。</p> <p>【令和7年度の事業展開】</p> <p>南公民館では、地域住民の意向を運営に取り入れるため、運営協力委員や自治会長から地域の社会課題について情報収集を行い、それに基づいて来年度の講座を企画・検討している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訪問による悪質商法対策などの防犯講座。 ・スマートフォンをより便利に使うためのワンランク上のスマホ講座。 ・独居高齢者のための料理教室。
委員	<p>【事業報告の意見】</p> <p>○生涯学習の拠点として、地域の優れた人材を発掘することが重要である。</p> <p>○学校教育、社会教育にも限界があり、家庭教育が重要である。</p> <p>【事業展開の意見等】</p> <p>○独居高齢者のための料理教室は、どのような方の意見を取り入れたのか、また独居に限定せず対象を広げた方が良いと考える。</p>
事務局	<p>③北公民館の事業経過報告</p> <p>【講座】</p>

委員	<p>多肉植物寄せ植え講座</p> <p>【目的】 多肉植物の寄せ植えを体験することで、参加者に園芸の楽しさを感じてもらおう。</p> <p>【成果と課題】 職員と利用者のコミュニケーションから企画に至った。地域の人材発見が地域をつなぐ視点で重要である。講師の周到的な事前準備や余裕を持った時間配分、受講者の手際が良かったことから、想定以上に寄せ植えが早く仕上がった。今回が初回であり、多くの方に楽しんでいただけたと自負しているが、内容や時間配分を踏まえて改良していきたいとえている。</p> <p>【令和7年度の事業展開】 多肉植物寄せ植え講座について、多くの方が次の開催を期待しているので、令和7年度も継続して開催したいと考えている。</p> <p>【事業展開の意見】 委員から具体的な植物に関する質問があった。</p>
事務局	<p>④高階南公民館の事業経過報告</p> <p>【講座】 冬休み書道教室</p> <p>【目的】 小学3年生から中学生を対象に書道に親しむ機会を提供し、礼儀作法や正しい姿勢などを学ぶ契機とする。</p> <p>【成果と課題】 1時間という限られた時間ではあったが、概ね集中して取り組めており、中には作品に納得できず、時間を延長してまで書き上げる子どももいた。10名の参加者に対して講師1名では少し物足りない感もあったので、考慮していきたい。</p> <p>【令和7年度の事業展開】 子どもの居場所づくり、地域コミュニティの活性化を柱の一つとして令和7年度の事業を展開する。継続している講座はマンネリ化させず、魅力ある内容になるよう社会のニーズに即した新しい内容を組み入れていく。また、新規で開催する講座は公民館の単独事業として考えず、地域団体と連携できるような事業を検討し、地域コミュニティを意識した取り組みを行う。さらに、公民館事業をより多くの人に知ってもらうための講座情報発信方法や時期、タイミングを事業ごとに検討し、より多くの方に来館してもらうことでコミュニティの活性化につなげていく。</p>

事務局	<p>⑤ 大東南公民館の事業経過報告</p> <p>【講座】 環境講座「エコクッキング」</p> <p>【目的】 材料、光熱費、時間を節約できる調理方法等を学ぶことで環境学習を行う。</p> <p>【成果と課題】 身近な材料を利用し、ちょっとした工夫で食材を無駄にすることなく、しかも美味しく調理し、時間や水光熱費も節約できる調理法を学ぶことができた。今回はお正月メニューであったが、普段の食のメニューも学んでみたいという参加者の声があった。</p> <p>【令和7年度の事業展開】 新規講座や内容の充実のために、既存の講座を見直したい。また、引き続き地域に求められる事業と新規講座を組み合わせ実施する。若い子育て世代の増加が予想されるため、子育て支援事業を充実させたい。具体的には、「子育てトレーニング講座」を一段階レベルアップした「ペアレントトレーニング」講座に替え、子育て世代の支援に役立つ予定である。また、災害に対する備えとして、防災アドバイザーから能登半島複合災害について学ぶ講座（新規講座）も取り入れられるよう計画中である。</p>
委員	<p>【事業報告の意見等】 具体的な運営方法や年齢層に関する質問が挙がった。</p>
事務局	<p>⑥ 霞ヶ関西公民館の事業経過報告</p> <p>【講座】 すぐに実行できる防災のおはなし～自分の身は自分で守る～</p> <p>【目的】 自分の安全は自分で守ることが防災の基本であり、自身の身を守るために日頃からの備えを行い、防災・減災に関する知識を習得し、スキルアップに努める。</p> <p>【成果と課題】 日頃からの準備で非常時に効果的な対策ができる知識を習得できたと多くの参加者から感想が寄せられた。課題は申込者が想定より少なかったため、地道に講座を継続し、ニーズに合った内容になるよう精査していきたい。</p> <p>【令和7年度の事業展開】 霞ヶ関西公民館では令和7年度に委嘱を受ける人権教育推進事業の</p>

委員	<p>一つとして、小学校・中学校と連携し、教職員に対して人権課題としての「LGBTQ」を正しく理解し、性のあり方の多様性について学ぶ講座を検討している。</p> <p>【事業展開の意見等】</p> <p>○人権教育について、学校が熱心に取り組んでおり充実している。学校教育以外の世代に向けて地道に取り組んでいただきたい。</p> <p>○学校と公民館が連携して人権教育が行われるのは良い取り組みであるが、公民館が主体となることには疑問がある。</p> <p>○学校教育が不足している部分を公民館が補完しているため良い取り組みである。</p> <p>○教育委員会として、小中学校と公民館が共同で進めている事業である。</p> <p>○子育て世代に対しても、人権教育を展開していく必要があるのではないか。</p> <p>○公民館の目の前にある川越西高校とも連携した方が良いのではないか。</p>
事務局	<p>⑦ 伊勢原公民館の事業経過報告</p> <p>【講座】</p> <p>リサイクルガラスアートで学ぶ「SDGs」</p> <p>【目的】</p> <p>廃材ガラスで作ったガラスビーズで絵を描き、フォトフレームに入れて持ち帰って飾る。ゴミをゴミで終わらせないアート体験を通してリサイクルを学ぶことを目的としている。</p> <p>【成果と課題】</p> <p>伊勢原公民館および名細公民館にて、同一内容で会場を分けて2回開催した。SDGs の考え方とリサイクルガラスビズができる過程に関する環境学習。好きな図案を選び、実際にガラスビーズを使ってアート体験ができた。</p> <p>【令和7年度の事業展開】</p> <p>通年で開催可能な内容ではあるが、講義に加え実際に制作することから、夏休みの自由研究課題になると参加者から好評であった。リサイクル品を活用ため、制作を通してゴミを減らせることから、付添者の追加参加やキットのみの頒布など、臨機応変に対応している。</p>
委員	<p>【事業展開の意見等】</p> <p>伊勢原公民館では令和7年度の主な新規事業として、幅広い世代が公民館を利用し親しんでもらえるよう、対象別に以下の3つの講座を計画している。</p>

	<p>対象子育て：さいたま市を中心に活動されている『未来あそびラボ』の協力を得て、未就学児の親子参加型の遊びを通じて「知的好奇心」「自己肯定感や他者信頼感」「身体を動かす楽しさ」を培うことを目的に「(仮) 新聞紙ぐちゃぐちゃ遊び」を計画する。</p> <p>対象青少年：小学生の親子を対象に、地元・霞ヶ関北小学校出身のピアニスト、吉田太郎氏による母校でのピアノコンサートとトーク「(仮) 親子で聴くクリスマスピアノ演奏会」を計画する。</p> <p>対象成人等一般：公益財団法人日本フォークダンス連盟の協力を得て、フォークダンスの音楽や昭和歌謡を用いて筋力トレーニングにもつながる新しいダンス「フレップダンス」で楽しく身体を動かし、「身体、精神・心理、社会性」の3つのフレイルを予防する「(仮) 健康増進のためのダンス講座」を連続講座として計画する。「フレップダンス」の発案者である「踊る理学療法士」堀川氏も京都よりお招きする予定である。</p>
事務局	<p>(2) その他</p> <p>中央公民館から令和6年11月7日及び8日に新潟県上越市上越文化会館で開催された、第46回全国公民館研究集会・第64回関東甲信越静公民館研究大会新潟大会の報告を行った。</p> <p>令和8年度の全国公民館研究集会は埼玉県が担当になることで、埼玉県公民館連絡協議会から、川越市を会場市として打診があったため、視察と研鑽を行ってきた。</p> <p>会場は、新潟県上越市 上越文化会館を中心に開催された。「公民館のチカラ ～未来につなぐ、未来をつくる公民館～」というテーマの下、第1日目は全体会として記念講演などが実施され、第2日目は、5つの分科会が開催された。</p>
副会長	<p>4. 閉会</p>